

健院 L-CUB 八山田

株式会社エスデー設計研究所 石井 久克

2006年6月、福島県郡山市八山田に、医療・介護施設と住宅、コンビニエンスストア、レストラン、メディカルフィットネスクラブ、保育園などを一か所に集約した複合型施設「健院 L-CUB(エルキューブ)八山田」が竣工した。民間企業(株)エヌジェアイが現行基準に縛られない、まったく新しいコンセプトで創った、自宅と病院の間施設であ

る。ここでは、退院したばかりなどで健康に不安を抱える人たちが「小さな街」で生活でき、介護の必要の人が社会生活への復帰を目指すリハビリ施設として活用できる。施設は「居住ゾーン」「ライフサポートゾーン」「ショップ・レストランゾーン」の3つで構成され、他に90台の駐車場を備えている。

したがって、本施設的设计に当

たっては「小さな街」をイメージさせ、かつ周辺の街に対して閉鎖的にならず、入居者以外の様々な人々が、様々な目的で気軽に訪れ、過ごすことのできる街創りを目指した。よって施設は一体化せず、各ゾーンごとに分節切り離し、ゾーン間の隙間スペースを、街のエクステリアゾーンとして設えをした。昼時には行列もできるレストランにはオープンカフェも設えてある。小規模ながらも、多くの機能・要望を抱え、かつ国内では初めての試みであることから、最後まで検討を加え調整を行った。設計者以上に橋本社長および担当の方々の大変な苦勞の結果ででき上

病院 66 卷 11 号 2007 年 11 月

(87) 971

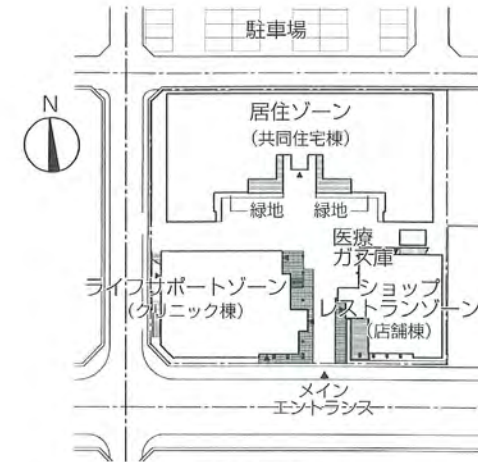


図1 配置図

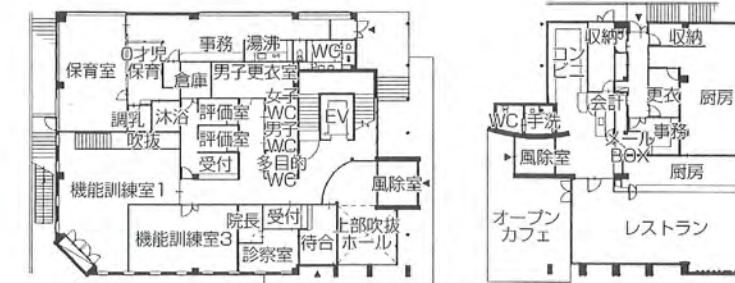
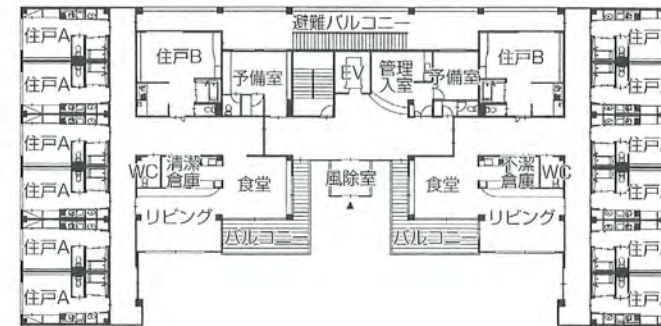


図2 1階平面図

た「小さな街」である。

5つのユニットで構成された居住ゾーン

ユニットは6つの個室と1つの2人室・キッチン・食堂・暖炉のあるリビングで構成されている。プライバシーに配慮し、玄関からリビング・食堂を通らず個室へ行ける動線確保している。様々な人が入居す

ることに配慮した計画である。共有スペースとして最上階にキッチン設備を持つ多目的室、接して木質のデッキテラス・屋上庭園などを備えている。入居者等のコミュニケーションの場であり、リハビリの場でもある。他に在宅復帰のためのADL室も設置している。

個室は、キッチン・洗濯機・トイレ・浴室・ライティングテーブル等



写真1 地域に開いた施設全景



写真2 ゆとりのある個室



写真3 暖炉のあるリビングルーム



写真4 メディカルフィットネスクラブ

の設備が備えられており、また居室スペースは家族や知人が訪れ宿泊できる広さを確保している。様々な都合で入居される人に対応できる仕様となっている。

972 (88)

病院 66 卷 11 号 2007 年 11 月

